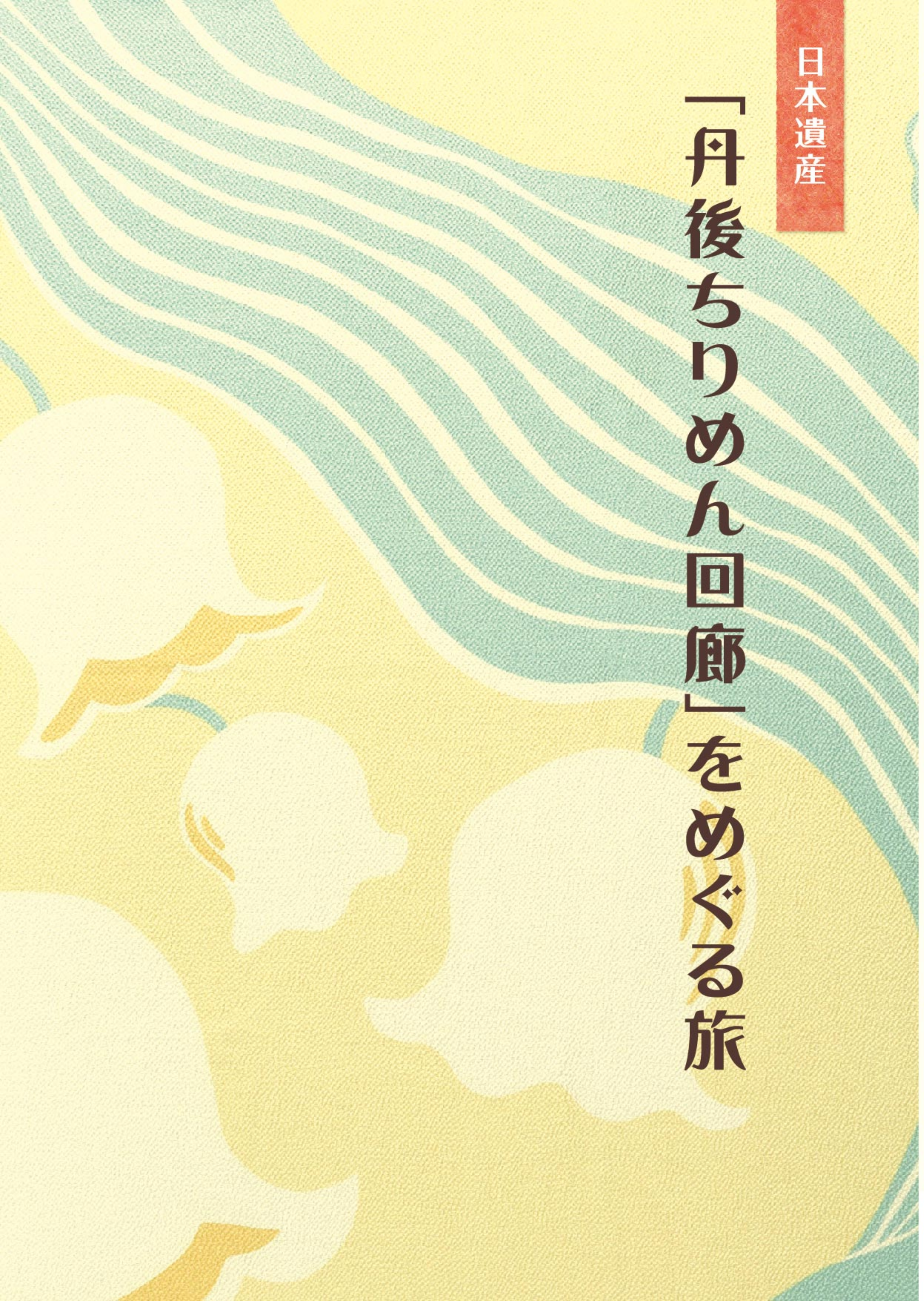


日本遺産

「丹後ちりめん回廊」をめぐる旅

日本遺産「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」

平成29年度、文化庁により『300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊』が日本遺産に認定されました

JAPAN HERITAGE

STORY

京都府北部の丹後を訪れると、どこからか聞こえてくるガチャガチャという機織りの音。丹後は古くから織物の里であり、江戸時代に発祥した絹織物「丹後ちりめん」は、しなやかで染色性に優れ、友禅染などの着物の代表的な生地として、我が国の和装文化を支えてきた。この地は今も着物の生地の約6割を生産する国内最大の絹織物産地であり、織物の営みが育んだ、住居と機場が一体となった機屋や商家、三角屋根の織物工場の町並みと、民謡宮津節で歌い継がれた天橋立などの象徴的な風景を巡れば、約300年に渡る織物の歴史と文化を体感できる。

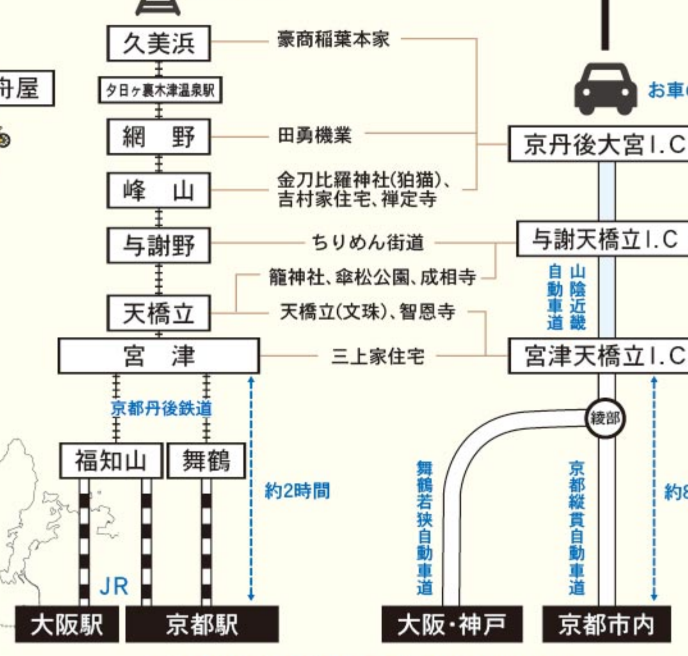
300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊 構成文化財一覧

区分	名称	所在地
京丹後市	絁(あしぎぬ)の碑	京丹後市弥栄町
京丹後市	丹後ちりめん	与謝野町・京丹後市・宮津市
京丹後市	八丁撚糸機	与謝野町・京丹後市
京丹後市	禅定寺	京丹後市峰山町
京丹後市	常立寺	京丹後市峰山町
京丹後市	金刀比羅神社	京丹後市峰山町
京丹後市	吉村家住宅	京丹後市峰山町
京丹後市	吉村家別荘(桜山荘(おうざんそう))	京丹後市峰山町
京丹後市	丹後織物中央加工場	京丹後市大宮町
京丹後市	網野神社・蠶織(こおり)神社	京丹後市網野町
京丹後市	足米機業場	京丹後市網野町
京丹後市	網野・弥栄の機屋の町並み	京丹後市網野町・弥栄町
京丹後市	丹後ちりめん小唄	丹後織物中央加工場
京丹後市	京丹後ちりめん祭	京丹後市網野町
宮津市	丹後紡織用具及び製品	宮津市(丹後郷土資料館)
宮津市	旧三上家住宅	宮津市河原
宮津市	今林家住宅	宮津市万年
宮津市	清輝楼	宮津市島崎
宮津市	茶六本館	宮津市魚屋
宮津市	新浜の町家	宮津市新浜
宮津市	民謡 宮津節	宮津市新浜
宮津市	宮津おどり	宮津市新浜
宮津市	天橋立	宮津市文珠
宮津市	智恩寺	宮津市文珠
宮津市	智恵の餅	宮津市文珠
宮津市	成相寺	宮津市成相寺
宮津市	籠神社	宮津市大垣
宮津市	真名井神社	宮津市大垣
宮津市	傘松公園	宮津市大垣
与謝野町	大内峠一字観公園	与謝野町弓木
与謝野町	ちりめんの道の機屋の町並み	与謝野町加悦
与謝野町	ちりめん街道	与謝野町後野
与謝野町	旧尾藤家住宅	ちりめん街道内
与謝野町	西山機業場の建物群	ちりめん街道内
与謝野町	織物見本帖『橋立』	ちりめん街道内
与謝野町	下村與七郎家住宅	ちりめん街道内
与謝野町	下村五郎助家住宅	ちりめん街道内
与謝野町	杉本治助家住宅	ちりめん街道内
与謝野町	旧加悦町役場庁舎	与謝野町加悦
与謝野町	旧加悦鉄道加悦駅舎	与謝野町加悦
与謝野町	旧加悦鉄道2号機関車	与謝野町滝
与謝野町	丹後ちりめん歴史館	与謝野町岩屋
与謝野町	丹後ちりめん岩屋踊り	与謝野町岩屋
与謝野町	織物始祖祭・金色蚕糸神祭	与謝野町内
与謝野町	実相寺	ちりめん街道内
与謝野町	三河内曳山行事	与謝野町三河内
与謝野町	倭文神社	与謝野町三河内
与謝野町	後野の屋台行事	与謝野町後野
与謝野町	加悦・算所の屋台行事	与謝野町加悦
与謝野町	宝巌寺	ちりめん街道内
与謝野町	吉祥寺	ちりめん街道内
他	丹後大仏	伊根町本坂
他	丹後ばらずし	丹後全域

主な観光スポットの車での移動時間の目安

レンタサイクルあり

丹後へのアクセス



路線バスや京都・大阪からの高速バスもあります

海の京都

京丹後地域本部 京丹後市観光公社 京都府京丹後市網野町網野367 アミティ丹後1F TEL.0772-72-6070

与謝野地域本部 与謝野町観光協会 京都府与謝郡与謝野町加悦1060 旧加悦町役場庁内 TEL.0772-43-0155

体験できる日本遺産

本格着物体験

着付け体験 Aプラン

ご着用時間目安：6時間～8時間

17,500円

着付け体験 Bプラン

ご着用時間目安：4時間まで

14,000円

日本遺産の「ばらずし」も味わえる「ハレの日御膳」つき！

※お着物の種類は多数あります

着付一式と、ばらずしなど郷土料理のお食事付。着物を着たまま街を歩いたり、各種体験に参加することもできます。（着物を着ずに体験のみでもご利用できます）

織元訪問や染工房訪問もできます。他にも様々な体験メニューがあるのでホームページをご覧下さい。

手織り体験（シルクコースターづくり）	
料 金	900円
体験場所	旧加悦町役場庁舎
所要時間	50分～ ※予約不要

4日前までにお電話かHPにてご予約下さい

与謝野町観光協会
京都府与謝郡与謝野町加悦1060
旧加悦町役場庁舎内
受付10:00～16:00／年中無休
TEL.0772-43-0155

丹後ちりめんのハンカチ染色体験

丹後ちりめんのハンカチに型染めの技法（ステンシルプリント）で染色します。

料 金	1,650円（税込）
体験場所	アミティ丹後
所要時間	40分
定 員	40名

手織り体験や陶芸体験、フルーツ狩りなどもあります！詳しくはホームページをご覧下さい！

京丹後市観光公社 TEL.0772-72-6070
京都府京丹後市網野町網野367 アミティ丹後1F 営業時間／8:30-17:15 営業日／月～土曜日

こま猫絵付け体験

料 金	子猫 2,800円(税込) 大猫 3,500円(税込)
体験場所	金刀比羅神社
所要時間	60分
定 員	最大20名程度

金刀比羅神社に祀られる「こま猫」のレプリカに絵付けして、世界でひとつの「こま猫」を作ります。

※ご予約・お問い合せは京丹後観光公社まで

丹後おみやげカタログ

丹後ちりめんグッズ

がま口ポーチ
一色テキスタイル（与謝野町）

ちりめん絵葉書
ちりめん工芸館（京丹後市）

ブックカバー
名刺入れ
田勇機業（京丹後市）

シルク美容品

丹後ちりめんを作る際に出る「セリシン」という成分は人の皮膚のアミノ酸組成に非常に近く、お肌をみずみずしくしっとりと保ち、外の刺激からお肌を保護してくれます。

丹後織物工業組合（京丹後市）

まゆのお風呂シリーズ

きぬもよふ シリーズ

こまねこスイーツ

こまねこ最中
御菓子司大道（金刀比羅神社前）

NEKO-NO-EN
戸田風月堂（京丹後市）

ねこマドレーヌ
パティスリーK（京丹後市）

丹後のしょうゆ

○おのじん（京丹後市）
○だいまるしょうゆ（京丹後市）
○桔梗屋醤油（京丹後市）
○坂長醤油（京丹後市）
○袋屋醤油店（宮津市）

丹後の地酒

○熊野酒造（京丹後市）
○竹野酒造（京丹後市）
○白杉酒造（京丹後市）
○木下酒造（京丹後市）
○吉岡酒造場（京丹後市）
○与謝娘酒造（与謝野町）
○谷口酒造（与謝野町）
○向井酒造（伊根町）
○ハクレイ酒造（宮津市）

＊おみやげは、各道の駅やアミティ丹後などで購入できます（スイーツは各販売店へ）

日本遺産「丹後ちりめん回廊」を巡る旅

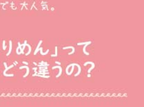
「丹後ちりめん」が300年前の人にも今の人にも愛用される理由。

丹後ちりめんは、生地のしなやかさや肌触りのなめらかさ、シルク独特の光沢感や染色の発色の良さから高級品として広く知られるようになりました。また、シワになりにくく、シルエットがきれいなことから、一般にも広く愛用され、今では着物だけでなく多くの製品に使われています。

しなやかで肌触りがよく、シワになりにくいから今でも大人気。

「丹後ちりめん」って他の布とどう違うの？

丹後ちりめんの最大の特徴は、『シボ』と呼ばれる、生地の細かい凹凸です。



この表面の凹凸が「シボ」です

縫糸に3000回転もの撚りを掛けた糸で織った織物を熱湯につけて、シルク特有のセリシンという膠（にかわ）質を取り除きます。その工程で、糸の撚りが元に戻ろうとする時に出来る凹凸が、「シボ」なのです。

なぜ「丹後」だったの？

江戸時代、不況に苦しむ丹後の人々を救おうと、先人たちがちりめんの技術を西陣より持ち帰り、その技術を惜しみなく地域に伝えました。「うらにし」と呼ばれる丹後独特のジメジメとした湿気のある気候がシルクを織るのに相性が良かったこともあり、やがて「丹後ちりめん」は高級品として定着。以来、この地に栄華をもたらし、地域の歴史や文化に幅広く影響を与えました。

豪商探訪 13 豪商稲葉本家

国登録有形文化財

江戸時代、織製造で得た富を背景に廻船業を営み、沿岸交易によって巨富を得た稲葉家。築130年以上の母屋は国登録有形文化財です。吟松舎は築200年以上で趣のある庭園を眺めながら名物ぼたもちを召し上がれます。陶芸やお香作り体験もできます。

- 京都府京丹後市久美浜町3102
- 電話 0772-82-2356
- 9：00～16：00　入場無料　●休館日：水曜日

稲葉本家の吟松舎座敷で頂く「ぼたもち」は絶品です！

12 田勇機業

手軽なちりめんグッズが購入できます

約60台の織機が動く迫力の製造工程を見られる工場。工場内ショップでのお買い物や重森三玲作庭の枯山水の庭もお楽しみいただけます。

- 京都府京丹後市網野町浅茂川112　●電話 0772-72-0307

10 金刀比羅神社

丹後ちりめんの繁栄を物語る荘厳なお社。境内の本殿神社には、養蚕の大敵・ネズミを退治する猫が「狛猫」として祀られています。狛猫をモチーフにした絵馬やグッズもあります。

全国でも珍しい「こまいぬ」ならぬ「こまねこ」。よーく探さないと見つからないよ！

- 京都府京丹後市峰山町京1165-2
- 電話 0772-62-0225

親ねこにギュッと守られた子ねこもかわいい♪

こまねこ最中

真と表に狛猫夫婦の顔が型押しされた「こまねこ最中」。こんぱる さんの前の「犬張」さんで買えます。

豪商探訪 豪商稲葉本家の ぼたもち

素材にこだわったなつかしい味。

丹後ばらずし

日本遺産の構成要素にもなっている「丹後ばらずし」は、ハレの日に家庭で作る郷土料理。甘辛いサバのおばろが美味しい、丹後地域独特の味です。

9 禅定寺

最初の「ちりめん」が奉納されたお寺

丹後ちりめん創業者の一人、絹屋佐平治が京都西陣の技術習得を祈願した寺。佐平治が最初に織ったとされる「縮み布」が奉納されています。

- 京都府京丹後市峰山町小西472
- 電話 0772-62-2064（見学は要予約）

京丹後エリア

京丹後市には、構成要素が点在しています。見学や体験をしながらゆっくりまわるのがおすすめです。

国道178号線は、絶景が続くおすすめのドライブコースです

道の駅 てんきてんき丹後

道の駅 丹後王国食のみやこ

タロウ浦海岸のビーチ・ブランコ「ゆらり」は人気のフォトジェニックスポット

アミティ丹後（京丹後市観光公社）

道の駅 くみはま SANKAIKAN

夕日ヶ浦木津温泉

狛猫の「絵付け」体験できます！詳しくは裏面で

伊根エリア

重要伝統的建造物群保存地区

伊根の舟屋

建物の1階が舟のガレージになっている「伊根の舟屋」。風情があり、テレビや映画のロケ地としても有名です。

道の駅 舟屋の里公園

8 丹後大仏

伊根町の日本遺産構成要素。丹後大仏。かつてこの地域の製糸場で多数の従業員が東京帰りにスペイン風邪の犠牲となり、その霊を慰めるために建立されたといわれています。

6 成相寺

国指定史跡　西国第28番札所

傘松公園から登山バスが出ています。

ここから「股のぞき」をすれば天に架ける橋が見えるン！？

5 傘松公園

宮津エリアの構成要素の多くは、「宮津節」で歌われた景観地です。江戸時代に商業・港湾都市として栄えた宮津の花街でうたわれた宮津節は、その時代の豊かさを伝えています。

14 大内峠一字観公園

横一文字の天橋立が見える絶景ポイント。与謝野鉄幹・与謝野晶子夫婦が詠んだ句碑もあります。

宮津エリア

1 天橋立

日本三景

イザナギの神が、真名井神社のイザナミの神に会うために天上から架けたハシゴだとも言われる天橋立。36kmほどの長さで、ゆいて渡ることもできます。

道の駅 海の京都宮津

豪商探訪 7 旧三上家住宅

国指定重要文化財

宮津城の城下町有数の商家だった三上家は、江戸時代に酒造業・廻船業・和糸問屋などを営む豪商でした。白壁の蔵りは今なお美しく、贅を尽くした建築物や庭、内装の数々は一見の価値があります。平成元年に京都府指定有形文化財に指定され、平成15年には主屋をはじめとする8棟が国の重要文化財に指定されました。また、平成12年には庭園が京都府指定名勝となっています。

- 京都府宮津市宇河原1850　●電話 0772-22-7529
- 9：00～17：00（入館は16：30まで）
- 休館日：年末年始

2 元伊勢籠神社

3 眞名井神社

4 智恩寺

「三人寄れば文殊の知恵」で有名な智恩寺の近くに「智恵の輪」の灯籠があります。ちょっとわかりにくいけど探してね！

智恵の輪を探せ！

智恵の餅

日本遺産の構成要素にもなったお菓子。智恩寺の参道にお店が並んでいるので食べ比べてみては？

与謝野エリア

丹後ちりめんが隆盛を極めた時代に丹後と京都市をつなぐ物流の拠点となりちりめん商人が集い賑わった町です。当時の面影を残すちりめん街道のレトロな町並みは、「伝統的建造物群保存地区」に認定されています。

本物のちりめんの着物を着て街歩きができる「本格着物体験」はぜひおすすめ！（裏面参照）

ちりめん街道

1～2時間くらいで歩いてまわれる歴史建造物の宝庫です

17 旧尾藤家住宅

京都府有形文化財

家主の尾藤正蔵は、丹後ちりめんを京阪神に輸送する目的として開業した加悦鉄道の社長や加悦町長を務めるなど、町の産業振興に尽力しながら、自身の念願であった自宅の洋風建築に着手しました。1階が和、2階は洋の和洋折衷の建物や奥座敷、中庭は入口外観からは想像できない空間が広がります。

- 京都府与謝郡与謝野町字加悦1085番地　●電話 0772-43-1166
- 9:00～17:00 ●要入館料 ●休館日：水曜日（祝日の場合は翌日）年末年始

18 実相寺

日蓮宗の寺院。このお寺には、養蚕・生糸・織物の守護神である「金色蚕糸神」という蚕の神様がお祀りされています。

11 吉村家住宅

昭和初期の建物は、現在も白生地を製造販売する店舗として使用されています。

15 丹後ちりめん歴史館

昭和10年建設の工場群跡地をそのまま利用し、丹後ちりめんの織りから染めまで全ての工程が見学可能。ちりめんグッズの購入や体験などもできます。※体験は要予約

豪商探訪 旧加悦町役場庁舎（与謝野町観光協会）

重要伝統的建造物群保存地区

京丹後エリア

21 西山工場　杉本家住宅

丹後ちりめんの始祖のうちの一人「手米屋小衛門」の生家。横の小道を入ると「西山工場」があり、今もちりめんが織られています。

20 下村家住宅（丸中商店）

明治に建築された商家。ちりめん街道の角に位置していることから屋号は「角屋」と呼ばれ、北前船も運行する豪商でした。

19 下村家住宅（旧郵便局）

明治時代には郵便局として、変動の激しい生糸相場の電信に欠かせない重要な拠点でした。

16 旧加悦町役場庁舎

京都府有形文化財

昭和初期には珍しい洋風建築で作られた役場庁舎。丹後大震災の被害により再建された庁舎は、地域の有力者たちの寄付によって賄われ、復興のシンボルとなりました。